様式２

所見評価

指定管理者の管理運営に対する評価シート

所管課	総務市民局地域・人づくり部地域振興課
評価対象期間	令和６年４月１日～令和７年３月３１日

１　指定概要

<table>
<tr><td rowspan="3">施設概要</td><td>名　　称</td><td rowspan="2">北九州市折尾まちづくり記念館</td><td>施設類型</td><td>目的・機能</td></tr>
<tr><td colspan="2">Ⅰ　　―　　⑥</td></tr>
<tr><td>所 在 地</td><td colspan="3">八幡西区堀川５番２３号</td></tr>
<tr><td>設置目的</td><td colspan="3">折尾のまちづくりの歴史に関する情報の収集及び提供行うとともに、住民等の交流及び自主的活動の場を提供することにより、折尾における地域主体のまちづくりの推進に資すること。</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">利用料金制</td><td colspan="3">非利用料金制　・　一部利用料金制　・　完全利用料金制</td></tr>
<tr><td colspan="2">インセンティブ制　有・無</td><td colspan="2">ペナルティ制　　有・無</td></tr>
<tr><td rowspan="2">指定管理者</td><td>名　　称</td><td colspan="3">北九州市折尾まちづくり推進チーム共同事業体</td></tr>
<tr><td>所 在 地</td><td colspan="3">八幡西区自由ケ丘１番１号</td></tr>
<tr><td colspan="2">指定管理業務の内容</td><td colspan="3">・事業に関する業務
① 折尾のまちづくりの歴史に関する情報の収集及び提供に関する業務
② 折尾のまちづくりの支援に関する業務（主催事業）
・施設の運営に関する業務
① 施設の提供（貸し施設）に関する業務
② 利用者へのサービス（無線LAN（フリーWi-fi））に関する業務
③ 広報（ホームページ、チラシ発行等）に関する業務
・施設の管理に関する業務
① 庶務業務（使用申請の受付、使用料の徴収等）
② 管理業務（清掃、警備、施設保全業務等）
・その他管理運営（業務報告書の作成・提出等）に関する業務
・提案事業に関する業務
・自主事業に関する業務</td></tr>
<tr><td colspan="2">指定期間</td><td colspan="3">令和４年５月２８日～令和９年３月３１日</td></tr>
</table>

２　評価結果

評価項目及び評価のポイント
１　施設の設置目的の達成（有効性の向上）に関する取組み
（１）施設の設置目的の達成
①　計画に則って施設の管理運営（指定管理業務）が適切に行われたか。また、施設を最大限活用して、施設の設置目的に沿った成果を得られているか（目標を達成できたか）。
②　利用促進を目的としている施設の場合、施設の利用者の増加や利便性を高めるための取り組みがなされ、その効果があったか。
③　複数の施設を一括して管理する場合、施設間の有機的な連携が図られ、その効果が得られているか。
④　施設の設置目的に応じた効果的な営業・広報活動がなされ、その効果があったか。

［所　見］

・交流イベントの開催数が目標値を上回っており、記念館の利用促進に繋がっていると思われる。

・イベントの運営は近隣大学の学生などにボランティアとして協力をしてもらうなど、多世代の交流に繋がるような企画も多かった。

・収集する資料数についても、目標値を上回っており、記念館の設置目的に沿った成果を得られている。

・広報誌「記念館だより」の発行（自治会等への配布）やホームページ等による情報の発信が十分になされており、当該施設の認知度向上と利用促進に大きく貢献している。

提案書の数値目標

項目	目標値	参考：R4 年度	参考：R5 年度	R6 年度
交流イベント開催数	40 回	56 回	95 回	62 回
まちづくり支援会員登録団体数	4 件	3 件	8 件	9 件
特別展示開催回数	3 回	1 回	2 回	3 回
ボランティア隊活動回数	10 回	6 回	9 回	6 回
収集する資料数	150 点	16 点	687 点	246 点

※□　・・・評価対象年度（以下、同じ）

その他の参考指標

項目	参考：R4 年度	参考：R5 年度	R6 年度
利用者数	107,553 人	143,274 人	200,038 人
広報誌の発刊	月 1,500 枚程度	月 1,500 枚程度	月 1,500 枚程度

（２）利用者の満足度

①　利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られていると言えるか。
②　利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。

③　利用者からの苦情に対する対応が十分に行われたか。

④　利用者への情報提供が十分になされたか。

⑤　その他サービスの質を維持・向上するための具体的な取組みがなされ、その効果があったか。

［所　見］

・利用者アンケートによると利用者の満足度は９割以上となっており、非常に高く評価できる。

・利用者の意見の把握、反映、満足度向上のため、館内に利用者アンケートを設置し、アンケート結果を職員間で共有、分析および検討し改善を図っている。

・苦情や要望については、施設管理運営委員会においてその旨を情報共有し対策案を検討した後、検討結果を館内掲示しており、適切に対応できている。

・ＨＰで会議室の予約状況等を随時更新するなど、情報提供に積極的に努めており評価できる。

提案書の数値目標

項目	目標値	参考：R4 年度	参考：R5 年度	R6 年度	
利用者満足度（大変満足または満足と回答の計）	85%以上	99% 99% 99% 99%	98% 100% 96.6% 100%	利用環境 清掃状態 利用ルール 職員の対応・マナー	98% 99% 95% 96%

その他の参考指標

項目	参考：R4 年度	参考：R5 年度	令和 6 年度	備考
HP・SNS の更新回数	HP：多数 SNS：3 回／月程度	HP：多数 SNS：11 回／月程度	HP：多数 SNS：8 回／月程度	HP：イベント等毎に更新 （※利用状況も更新） X：34 回、Instagram：67 回

２　効率性の向上等に関する取組み

（１）経費の低減等

①　施設の管理運営（指定管理業務）に関し、経費を効率的に低減するための十分な取り組みがなされ、その効果があったか。

②　清掃、警備、設備の保守点検などの業務について指定管理者から再委託が行われた場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるよう工夫がなされたか。

③　経費の効果的・効率的な執行がなされたか。

［所　見］

・主催イベントを多数（62 回）実施したため、事業費が大きくなっている。

・人件費や物価高騰しているが、経営母体の人材を上手に活用することなどで人件費の削減に努めている。

（単位：千円）

支出項目	R6 予算	R6 決算	参考:R5 決算	増減理由
事業費	1,002	723	971	主催イベントの実施数が多い
人件費	10,665	10,739	10,641	経営母体の職員の有効活用
施設維持管理費	3,530	3,712	3,492	築３年のため、軽微な修繕のみ
その他管理運営費	2,313	2,091	2,100	―
計	17,510	17,265	17,204	―

再委託項目	R6 予算	R6 決算	参考:R5 決算	増減理由
清掃	1,343	1,356	1,401	―
機械警備	50	50	50	―
保守点検	596	596	603	―

（２）収入の増加

① 収入を増加するための具体的な取り組みがなされ、その効果があったか。

［所　見］

・会議室の利用については、北九州市の利用が多く、使用料が減免されているため、当初想定していた収入額を大きく下回っているが、利用状況としては上回っている。

収入項目	予算等	R6	備考
会議室利用料金収入	1,760	385(1,085)	※括弧は減免なしの額
自主事業収入	270	290	

３　公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組み

（１）施設の管理運営（指定管理業務）の実施状況

① 施設の管理運営（指定管理業務）にあたる人員の配置が合理的であったか。

② 職員の資質・能力向上を図る取り組みがなされたか（管理コストの水準、研修内容など）。

③ 地域や関係団体等との連携や協働が図られたか。

［所　実］

・職員配置は要求水準どおり配置されている。

・経営母体が実施する研修（マナー研修やメンタルヘルス講習等）に参加することで、研修を実施している

・地域住民と学生等との多世代交流の場としての機能を果たすべく、「折尾地区学術連絡協議会」を発足させ、教育機関との意見交換や周辺大学・高校が主体となるイベントの実施をしている。

（２）平等利用、安全対策、危機管理体制など

①　施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切に実施されているか。
②　利用者を限定しない施設の場合、利用者が平等に利用できるよう配慮されていたか。
③　利用者が限定される施設の場合、利用者の選定が公平で適切に行われていたか。
④　施設の管理運営（指定管理業務）に係る収支の内容に不適切な点はないか。
⑤　日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。
⑥　防犯、防災対策などの危機管理体制が適切であったか。
⑦　事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか。

［所　見］

・「プライバシーポリシー」、「ソーシャルメディア運用指針」を作成・公開している。
・会議室の予約状況を随時ホームページに更新することで、平等性を確保している。
・館内外を定期的に巡回点検することで、日常的な事故防止を図っている。
・「危機管理マニュアル」を定期的に改訂し、実態に合った運用ができるようにしている。
・車椅子を設置し、身体障がい者の利用に配慮している。

【総合評価】

［所　見］

目標値を上回る資料収集が出来ており、近隣の教育機関と連携したイベントの実施を行うなど、多世代が交流できるイベントを積極的に行っており、当施設の設置目的に沿った事業展開が出来ている。また、利用者数及び利用者アンケートを見ても利用者の満足度は非常に高く、施設運営に対して高く評価できる。

［今後の対応］

会議室等の使用料収入については、利用者は多いものの、学生がフリースペースを放課後の学習の場として利用しているものと、減免申請による利用が主となっていることから民間の利用向上による収入改善が求められる。